

# 成長錐の手入れ

## \*手入れの目安

サンプリング終了後にはビットの掃除を行って下さい。

樹脂分の多い木からのサンプリング時は1日に数回掃除を行って下さい。

## \*必要な物

スチールウール（#000）、防錆剤（CRC-556またはWD-40など）、木製棒（抽出器でもOK）またはガンクリーニングキット

清掃法：

防錆剤を吹き付けて少し時間を置いてから木製棒（抽出器でもOK）の先端へ少量のスチールウール（#000）を巻き付け、ビット内部を掃除します。また、外側も同じく掃除します。（刃を傷つけないよう注意して下さい）

防錆剤はティッシュなどでキレイに拭き取って下さい。

\*ガンクリーニングキットも掃除用具として有効です。

## \*その他：

コアがキレイに取れない場合は、ビットを掃除してみてください。

コアに傷があったり、樹の硬さの割に挿入しにくい場合は、先端刃が欠けている事があります。

## ① Sharpening kitによる研磨

写真の要領で研磨して下さい。

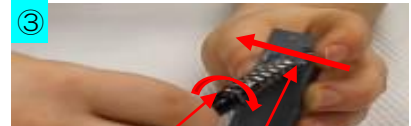
\*ビット及び砥石にミシン油等を充分かけてから研磨を行います。



① ネジ山の刃が鋭利でない時は研いでください。（特にビット先端



② 刃の角度は45度で砥石へ当てる。



③ 角度を保ったまま時計回りに少し回しながら横へ引いて研磨す



④ 研磨によるバリを取り除く。



⑤ 軽く刃に砥石を当て引く事でバリ

## ② 弊社オリジナル研磨器による研磨

弊社のオリジナルの研磨器は鉛筆削りの要領で誰でも簡単・正確に刃を研ぐことができます。

（本研磨器は樹木年輪研究会の先生方にご協力いただき、試作を繰り返し完成させました。）



①の通りセットし、②の様にして回せば研磨できます。



バリは竹の棒などでも取れます。

\*成長錐の刃は先端から約2mmほどしか研磨は出来ませんのでご注意ください。